

東北・関東大震災での DMAT 活動報告

総合内科学講座 統括 DMAT 五月女隆男

この度の災害で被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。滋賀医科大学 DMAT（災害派遣医療チーム）は発災翌日 3 月 12 日より 14 日までいわて花巻空港で広域搬送のための SCU 活動を展開しました。阪神・淡路大震災の教訓を元に、広域搬送システムが構築され実践されたものです。花巻空港には関西圏の DMAT が集結し、消防や自衛隊と一丸となった SCU 活動が行われました。花巻空港周辺は地震による建造物倒壊等はありませんでしたが、電気・水道・ガス等のライフラインは寸断されており、津波による被害が大きかった沿岸部被災地では壊滅的なダメージを受けた病院が多く、適切な医療を提供することが不可能となりました。医療資源不足を解消する手段として、ヘリコプターや救急車で花巻空港に重傷者を集結させ、自衛隊機で羽田空港や秋田空港に搬出することにより、高度な医療を提供できたものと思います。道路寸断による陸路移動が困難な被災地のドクターヘリの活躍はめざましく、滋賀県でも独自の運用が開始されることを願わずにはられません。今後、滋賀県でもこのような災害が起こることも十分に予想され、準備周到にする決意を新たにしております。



DMAT（災害派遣医療チーム）